

中央市子ども読書活動推進計画

子どもと本が出会えるまち・ちゅうおう



平成19年4月

中央市教育委員会

はじめに

人間は言葉をもち、その言葉によってものごとを考え、人と心をかよわせてきました。

子どもが言葉を学ぶのは、先ず自分を取りまく人々からですが、さらにその言葉を深め、高めていくのは読書に他なりません。読書によって、子どもは言葉を学び、感動するところを育み、豊かな想像力を身につけていきます。

「本」には「はじめ」「もと」という意味があります。また、「物事のおこりはじめ・物事の中心」という意味もあります。すなわち、読書は人を育てる「もと」であり、「はじめ」なのです。

中央市では、教育の基本に「まごころ」を掲げ、教育の指針としています。この教育の基本にはさらに、「生きる力をはぐくむ教育」（生）・「命を大切にする教育」（命）・「信頼しあう教育」（信）の三つの柱を設けています。

「まごころ」は誠実で、いつわりのないところであると同時に、他者をつつむやさしい思いやりのところでもあります。そして、この「まごころ」を子どものところに根付かせるのは日々の学習や、直接的な生活体験とともに、読書の力に負うところが大きいと考えます。

中央市では、読書活動の推進にあたり、「まごころ」が子どもの心に根をおろすことを願いつつ、中央市のすべての子どもたちが、家庭、地域、学校、市立図書館等で本とのよい出会いをし、さらに主体的・意欲的に読書活動が展開できるよう、子どもの読書活動推進計画を策定しました。

目 次

はじめに

第1章	子どもの読書活動推進計画の策定にあたって	1
1	子どもの読書活動推進の意義	1
2	子どもの読書活動の現状	1
3	計画策定の背景	3
4	計画策定の基本方針	3
5	計画の期間	4
第2章	子どもの読書活動推進のための方策	4
1	家庭・地域における子どもの読書活動の推進	4
2	学校における子どもの読書活動の推進	6
3	幼稚園・保育所・児童館における読書活動の推進	8
4	市立図書館等における読書活動の推進	9
5	推進体制の整備	12
第3章	関連機関等の連携・協力	13
1	行政機関との連携	13
2	市立図書館と学校・幼稚園・保育所・児童館等の連携	13
第4章	広報・啓発活動	14
1	「子ども読書の日」等における広報・啓発	14
2	子ども読書活動に関する情報の収集・提供	14